

### 教科等別年間指導計画

学年	1	教科	・ 英語を理解し、英語で表現する基礎的な能力を養い、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに言語や文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を養う。		
教科	外国語 (英語)	目標			
授業方法形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉授業</li> <li>グループ学習</li> </ul>		先生から一言	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に慣れ親しみ、大きな声で発音をしよう。</li> <li>新出単語、基本文、文法を確実に身につけ、会話表現を覚えよう。</li> <li>英語を通じて、外国の文化を知ろう。</li> <li>自己表現が英語のできるようにしていこう。</li> </ul>	
月	単元名	単元のねらい、内容	評価規準・方法等	総合的な学習、ことばの教育、環境教育、情報教育等との関連	時数
4	入門期	英語で簡単なあいさつをする。ローマ字とアルファベットの読み方や順序を覚える。授業中に使われる英語の指示を聞き取り行動する。自己紹介ができる。		あいさつ	11
	Unit 1			自己紹介	
5	Unit 2	相手の名前を聞いたり、人を紹介したりすることができる。		説明する力	9
	Unit 3	一般動詞を用いて自分自身のことを詳しく表現できる。	言語について基本的な知識を身につけ、運用することができる。		
6	Unit 4	趣味や持ち物などの話題を聞き合い友達と会話を続けることができる	初歩的な英語を用いて自分の考えや気持ちを相手に伝えようとしている。	類推する力	11
	Unit 5	命令文を理解したり、使うことができる。	間違いを恐れず積極的にコミュニケーション活動ができる。	文章を構成する力	11
8		時刻について尋ねたり、答えたりすることができる。			
	Unit 6	3人称単数現在を理解することができる。身近な人を紹介することができる。	英語を読んで重要なところを聞き取り、要点をまとめることができる。また、理解ができないところがあっても、前後の文章から類推し、概要を捉えることができる。	情報を読み取る力	11
	Unit 7	絵やジェスチャーをみて何をしているところか相手に説明するとき現在進行形を用いて表現することができる。	適切な声の大きさ、速さ、アクセント、強勢、イントネーションや、表情、動作などにも気を配り、発表している。	国際理解	10
10	Unit 8	「Where ~? Which ~?」を使って相手に尋ねることができる。	与えられた様々な情報を1つにまとめることができる。		10
11		How much ~?を用いて値段を聞くことができる。			
	Unit 9	助動詞 canを使って自分のことやできないことを相手に伝えることができる。	自分自身で課題を決め、問題解決の方法を見つけることができる。	生命の尊重 動物愛 思いやり・協力	10
12		How old ~?を使い、年齢を尋ねることができる。	協力をして、スピーチができる		10
	Unit 10	一般動詞の過去形(規則変化)が理解できる。	話を聞いてメモを取るなどし、要点をまとめることができる。		
1		過去の出来事を相手に伝えることができる。	(発表、単語テストなど、自己評価、ドリル、暗唱などの音読テスト)	国際理解	9
	Unit 11	一般動詞の過去形(不規則変化)が理解できる。			
2					
	Unit 12	I think (that)を使って自分の考えを伝えることができる。		自己表現する力	10
3					